英語部門

総評

スピーチ・朗読・暗唱については、リズム・イントネーション・音と音の連結など基本要素についてはある程度意識できているものの、「読む」だけになっている作品が多く見られました。その中でも、今回の候補作品は、題材の内容をよく理解し、自分のものにしたうえで、聞き手を意識した練習をしていることがうかがえます。今後は、「自分で考え、話す練習」を繰り返し、より豊かな表現力が育まれることを期待します。

作文については、事実と感想だけで終わっている作品が多く、似通った印象を受けました。何を学び、今後どうしていきたいのかを考え、表現する力を身につけることによって、より個性的な作品に仕上がるのではないかと思慮します。

文部科学大臣奨励賞

該当者なし

残念ながら、今回は該当作品がありませんでした。次回はスピーチ部門・作文部門ともに、レベルアップした作品がたくさん応募されることを期待します。

下記にスピーチの際に注意するとよい点を何点か挙げますので参考にしてみてください。

1. 学年や自分に合ったテーマや内容のものを選ぶ。
2. 英文の文法や単語が正しくなっているか確認する。
3. 発音・リズム・イントネーションなどの音声的特徴は繰り返し練習する。
4. 録音したテープを聞き直して、聞きやすいスピーチになっているか確認する。

また、作文部門については、体験談の羅列で終わるのではなく、体験したことから考えたことや、感じたことまでまとめられるとよいでしょう。

子どもの文化・教育研究所 理事長賞

Curious George Goes to the Hospital

東京都　成蹊小学校　4年
中村　南都子

Betsy came running down the ramp, threw her arms around George, and kissed him. "Don't be sad George," she said. "The whole thing was SO funny! I never laughed so much in my life. I'm so glad you were in the hospital with me."　（抜粋）

物語特有の少し難しい表現や単語も出てくる題材ですが、南都子さん自身が文章の内容をよく理解できているので、聞き手にも物語の内容が想像できるような朗読となっています。リズムが良く、聞き手に伝えたい箇所では強く読んだりとメリハリもつけれており、繰り返し練習をした様子もうかがえます。より自然で生活に身近な表現や単語を扱った題材であれば、更に南都子さんの気持ちが入った生き生きとした朗読ができるでしょう。

英語授業研究学会 会長賞

Sly Fox and Red Hen

奈良県　帝塚山学園帝塚山小学校　4年
水野　佑香

Red hen lived in a little house in a tree.
Sly Fox lived in the wood. And he was hungry. …
The stones fell splash! into the hot water.
"Ouch!!!" said Sly Fox.
"I really hate that hen!!!"（抜粋）

英語の発音、イントネーション、リズムなどの音声的特徴の基本がしっかりできています。特に最後3行のオチの部分は情景が目に浮かび秀逸でした。繰り返しが多く、単調になりがちな冒頭から中盤にかけての表現の仕方を工夫すると、さらに良くなるでしょう。これからも題材の内容をよく理解し、楽しみながら英語に親しむことを期待します。

日本児童英語教育学会 会長賞

The Very Hungry Caterpillar

群馬県　ぐんま国際アカデミー初等部　1年
松井　千隼

The caterpillar ate through one nice green leaf, and after that he felt much better.
Now he wasn't hungry any more - and he wasn't a little caterpillar any more. He was a big, fat caterpillar.（抜粋）

単語の意味をよく理解し、場面にあった抑揚をつけることで、表情豊かな作品に仕上がっています。また、単語と単語の連結も、小学校１年生とは思えないほど自然に発音することができていました。今後も学年にあった題材を何度も読み込み、さらなるレベルアップを図ってくれることを期待します。

中央出版株式会社 社長賞

Me at 12 years old

宮崎県　ベッピーキッズクラブ日南教室　中学1年
大西　奈那子

I said myself, "There are a lot of people creating great art in the world and I want to create something like I saw, or even a better one."（抜粋）

12歳の奈那子さんが自分自身について英語で作文し、スピーチしています。落ち着いたスピーチでとても聞きやすく、自分の考えをうまく表現できています。内容についても、よくまとまった原稿になっていることから表現力の高さもうかがえます。もう少しメリハリをつけることができれば、より自分の考えが聞き手に伝わりやすくなるでしょう。今後の英語力の発展に期待します。

財団法人語学教育研究所 所長賞

One Hundred Poets, One Poem Each

兵庫県　神戸海星女子学院小学校　6年
菅澤　理奈

And here is the last one, a poem by Abe no Nakamaro.
When I look up into the vast sky tonight, is it the same moon that I saw rising from behind Mt. Mikasa at Kasuga Shrine all those years ago?（抜粋）

和歌を英語で詠むという、ユニークな作品です。百人一首を暗唱し、どの単語も落ち着いてゆっくり読めていました。あまり例のない題材だと思いますが、聞き手にとって、心地いい音声でまとまっていました。時折、理奈さんの息づかいも聞こえて、感情が伝わってきます。発音やリズムも含め、バランスのとれた練習の成果でしょう。これからも様々なスピーチにチャレンジし、表現の幅を広げていってください。

優秀賞

Wallaby

愛知県　愛知教育大学附属岡崎小学校　2年
近藤　千代里